

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年5月19日(2025.5.19)

【国際公開番号】WO2024/252530

【出願番号】特願2023-537936(P2023-537936)

【国際特許分類】

A 4 7 C 7/62(2006.01)

B 6 0 N 2/60(2006.01)

B 6 0 N 2/90(2018.01)

A 4 7 C 7/72(2006.01)

B 6 0 R 11/02(2006.01)

B 6 0 W 50/14(2020.01)

B 6 0 W 30/08(2012.01)

10

【F I】

A 4 7 C 7/62 Z

B 6 0 N 2/60

B 6 0 N 2/90

A 4 7 C 7/72

B 6 0 R 11/02 S

B 6 0 W 50/14

B 6 0 W 30/08

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月14日(2023.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両の座席に用いられる警告用座席マットであって、
車両から分離可能であり、車両の前進又は後進を操作する操作者が着座可能なマット本体
(2)と、

前記マット本体に設けられ、前記マット本体の座面に作用する圧力を検知する圧力センサ
(20)と、

前記マット本体に設けられ、操作者が前記マット本体から離れたことを前記圧力センサが
検知したとき、操作者に注意を促す警告表示を伝達する警告手段(22、30)と、

前記マット本体に内蔵され、前記警告手段に駆動電流を供給する電源(40)と、

40

前記マット本体に設けられ、前記圧力センサの信号が入力され、操作者が前記マット本体
から離れたとき前記電源の電気エネルギーを供給して前記警告手段をオンにする駆動信号を
出力する制御部(50)と、を備えた警告用座席マット。

【請求項2】

前記マット本体は、座部マット本体(3)と、前記座部マット本体の前端に接続する可
撓性連結部(5)と、前記可撓性連結部から垂下可能な脚部マット本体(4)を有する請
求項1記載の警告用座席マット。

【請求項3】

前記制御部は、前記圧力センサ信号の所定圧力値未滿を検知したとき、前記警告手段が
自動でオンとなる請求項1又は2に記載の警告用座席マット。

50

【請求項 4】

前記警告手段への通電のオンオフを切り替えるスイッチ電源を備える請求項 1 に記載の警告用座席マット。

【請求項 5】

前記警告手段は、警告音を発するスピーカ（30）である請求項 1 に記載の警告用座席マット。

【請求項 6】

前記スピーカが発する音声を選択可能に複数の音声を収録するメモリーカードを差替可能なメモリーカードポート（24）を前記マット本体に備える請求項 5 に記載の警告用座席マット。

10

【請求項 7】

外部から前記電源に充電可能な USB 接続ポート（23）を備える請求項 1 又は 2 に記載の警告用座席マット。

【請求項 8】

前記スピーカの音量を調整する音量調整スイッチ（25）を備える請求項 5 に記載の警告用座席マット。

【請求項 9】

前記警告手段は、警告光を放射する照明器（22）である請求項 1 又は 2 に記載の警告用座席マット。

【請求項 10】

前記マット本体に車両用鍵を収納可能なキーポケット（45）を備える請求項 1 又は 2 に記載の警告用座席マット。

20

【請求項 11】

前記マット本体に、前記警告手段の駆動電流の供給をオンオフする電源スイッチを備える請求項 1 又は 2 に記載の警告用座席マット。

30

40

50